



▲「ひざを高く上げる」「手を大きく早く動かす」  
 など、教えてもらったことを生かして、和田選手  
 と一緒に走る児童たち

## 世界の走りを間近で

### 南比都佐小学校で陸上競技教室

7月14日(水)、南比都佐小学  
 校5・6年生63名を対象に、文部  
 科学省・(財)日本体育協会によ  
 る陸上競技教室(短距離)が行わ  
 れました。

講師として、2009年世界陸  
 上ベルリン大会に出場され、アジ  
 ア選手権では400mリレーで優  
 勝された和田麻希選手(チームミヌ  
 ノアスレティック)が来られました。

子どもたちは、スタート時の姿  
 勢や走っているときに心掛けるこ  
 となど、早く走るコツを和田選手  
 から教えてもらい、体育館の中を  
 元気に走りまわりました。

和田選手は、「陸上競技にはさ  
 まざまな種目があります。自分の  
 好きな種目を見つけて楽しんでく  
 ださい」と、スポーツの楽しさを  
 伝えられました。

## もしも火事が起こったら…

### さくら園で避難訓練

7月23日(金)、さくら園で避  
 難訓練が行われました。

町立保育所3園では、地震や火事  
 など、さまざまな事態を想定し、毎  
 月避難訓練が実施されています。

今回は、園児がホールに集まっ  
 ている際、給食室から出火したと  
 想定し、訓練が行われました。園  
 児たちは、非常ベルが鳴り響く中、  
 先生と一緒に非常口から避難しま  
 した。「おさなご」「はらなご」  
 「しゃべらなご」「もぐらなご」と  
 いう避難時の注意点を守り、園児  
 全員が園庭に避難しました。

また、先生によるバケツリレー  
 の実演も行われ、自分たちの身を  
 守ることの大切さを園児に伝えら  
 れました。



▲園児たちは、煙を吸い込まないように手で口を押  
 させて園庭に避難しました



▲公民館の企画委員さんたちからアドバイスを受け、  
 お父さん・お母さんと一緒にチャレンジ!

## 本の中から絵が飛び出す!

### 親子工作で仕掛け絵本づくり

8月8日(日)、日野公民館で  
 毎年恒例の親子工作が行われ、23  
 組の親子が参加されました。

今年は「仕掛け絵本を作ろう」  
 と題して、日野町ならではの曳山  
 をはじめ、ライオンや菜の花畑、  
 パワーショベルなど、11種類の見  
 本が用意されました。子どもたち  
 はどれを作るのかと悩んだ末、お  
 気に入りのものを選び、お父さん  
 ・お母さんと一緒に仕掛け絵本  
 づくりに挑戦しました。

見本で描かれた絵以外に好きな  
 絵を描いたり、想像して作ったり、  
 親子で楽しい夏のひとときを過ご  
 されました。



▲盆踊りの頃には、会場は訪れた人たちでいっぱいになりました。浴衣姿の方もたくさん来られました

## 今年も大盛況でした！

### 氏郷まつり「夏の陣」2010

8月7日(土)、役場北側駐車場において、氏郷まつり「夏の陣」2010が開催されました。毎年恒例となっている金魚すくいの陣や盆踊りの陣、灯籠の陣などが行われ、延べ13,500人が訪れました。

会場には、活気のある屋台が勢ぞろいしました。中には、鹿肉バーガーや日野菜キムチなどの屋台が出展されており、地元食材を活用したもののPRもされていました。

氏郷まつりを締めくくる花火の陣では、合計831発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を美しく彩りました。



▲迫力ある花火のフィナーレには歓声が上がりました



▲真剣なまなざしで金魚すくいに挑戦

#### 金魚すくいの陣

【少年の部】優勝・塚本華歩(41匹)／準優勝・榎並龍太郎(34匹)／第3位・町田菜月(22匹) 【一般の部】優勝・長尾美鈴(54匹)／準優勝・上西窪真季(45匹)／第3位・野澤美月(39匹)

#### 灯籠の陣

【少年の部】金賞・松尾美香／銀賞・岡純平／銅賞・瀧川幸奈 【一般の部】金賞・小谷信子／銀賞・小西茂男／銅賞・小谷真史

#### 盆踊りの陣

【団体の部】優勝・学童保育所ヒノキオ／準優勝・ピエロ／第3位・日野町健康推進健康づくり応援隊

【個人の部】優勝・落合みね／準優勝・池内美代子／第3位・筒井誠(敬称略)

## 地域の祭りを継承していく

### 上野田・里口の「火振り祭」



▲上野田・五社神社を出発する子どもたち

▶夜は、通りに松明の行列が続き、子どもたちはバンバラ竹で松明を叩きました



8月14日(土)、15日(日)、上野田・里口の行事「火振り祭」が行われました。夜に松明を雲雀野の松の木に投げ、たくさん枝に引つかかると、その年は豊作になると言われています。

祭りには、「ホイノコ」と呼ばれる子どもたちの存在が欠かせません。両日の昼過ぎには、上野田に住む9歳から14歳までの子どもたちが、浴衣姿で手にバンバラ竹を持ち、太鼓をたたきながら、字内を回りました。

8月5日(木)には、太鼓の練習が行われ、25名が参加。指導者の一人である矢島孝男さんは、「子どもたちが取り仕切る伝統的なこの行事を、楽しんで受け継いでいってもらえたら」と、地域の人々によって、この祭りが継承されています。